

# 定時社員総会議事録

平成29年度 公益社団法人 茨城県作業療法士会  
定時社員総会

平成29年6月4日14時30分より、茨城県立医療大学・大講義室（茨城県稲敷郡阿見町大字阿見4669番地2）において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人の社員総数	929名
総社員の議決権の数	929個
出席社員数（委任状による者(663)を含む）	764名
この議決権の総数	764個

## 出席理事

大場（代表理事：議長）、白石、寺門、小森、角田、大内、大松、若山、磯野、久保田、笥、柴田、富永、齋藤、関、山倉、武士、田口（書記）、荒井（書記・議事録作成者）

## 出席監事

西

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、代表理事：大場耕一は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに下記議案を付議した。

第1号議案 平成28年度事業報告の件 →賛成多数で第1号議案は採択

## 1. 主要目標

会長：大場 耕一

下記の目標に沿って事業を行った。

### 1) 公益社団法人としての組織・事業の総括

平成28年に公益社団法人移行後3年目となり、監督所管庁となる茨城県より監査をいただき、細かな指摘はあったが、問題なしとの監査結果をいただいた。

今後も公益性の高い事業推進を図っていくため、理事をはじめ会員各位が一丸となり事業実践しなければならぬと考えている。

### 2) 多職種協働型研修をはじめとした研修の推進、県士会学術集会およびブロック合同学会の継続・発展

「地域担当者」が本格的に稼働、実践力を持ったことで、全国規模でも先進県として注目される機会が増えてきた。研修については、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築に向け、他職種共同の勉強会を茨城県リハビリテーション専門職協会が実施し、地域で活躍できる作業療法士の育成を図っている。県士会としても、学会、研修会の開催を通じて、作業療法そのものの質の担保を担っていきたいと考えている。

### 3) 広報・啓発活動の継続・強化

行政・県民に対し、ホームページによる情報の発信をはじめ、広報誌や小冊子などを活用した情報拡散を行ってきた。しかし、まだ作業療法とは何かという事を伝えきれていない面もあり引き続き広報・啓発活動を強化して行っていきたいと考えている。

### 4) 災害支援への対応力強化に向けた組織構築

他職種連携のもと、さらなる体制強化が必要であり、今後も体制構築（J-RATなどを含めて）が必要と考えている。

### 5) 女性会員の事業参画促進に向けた取り組み

子育て等の理由により研修会や学術集会への参加などを制約されることが多いという課題に対し

て、必要に応じて託児室の設置をしてきた。平成 28 年度は県学会と市民公開講座（がんに対する作業療法士）において設置した。

#### 6) 事務局機能のさらなる強化

専任の事務員の雇用を果たすことができた。財源確保等の事由により、フルタイム勤務には至っておらず、まだ十分に事務局機能を果たしているとは考えていない。今後もさらなる強化を図ってきたいと考えている。

## 2. 事務局

事務局長：小森 裕一

会員及び組織に関する報告。正会員は、平成 29 年 3 月 31 日現在 925 名（内休会者 4 名）にて、平成 28 年度の入会 84 名、退会 84 名となっている。

総務部では、総会、年 3 回の理事会、常任理事会を年 4 回実施した。常設委員会の設置についての話し合いや、予算についての話し合いを中心に行った。また、茨城県の立入り検査が平成 28 年 10 月 20 日に行われ、事務局員にて事前に必要資料の確認などを実施し、県からも問題なしとの結果をいただいた。

庶務部は、会員の管理を事務局員と協同して実施。また、様々な印刷物の管理、封入作業を印刷会社と連携し実施した。

財務においては予算編成から各局と連携して、毎月月次報告を作成し、事業費の流れを正確に把握し会計社と共に財務管理を実施した。

厚生部においては、正会員及び関係者・団体に対し香典・弔電・供花の発送依頼・情報管理を実施した。また、中村茂美先生の厚生労働大臣賞受賞記念祝賀会開催を、平成 28 年 11 月 26 日にアール医療福祉専門学校同窓会「蓮水会」との共催にて実施し、64 名の参加があった。

## 3. 教育・学術局

教育・学術局長：白石英樹

例年通り研修会の企画運営を実施。平成 28 年度は、総会時研修では 135 名の参加があった。

基礎教育部として、現職者共通研修は 3 回実施し、おおむね 50～60 名（少ないときは 20 名程度）の参加があった。専門教育部として、現職者選択研修を実施した。老年期障害領域に関しては延べ 124 名の参加があった。また、生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修についても 2 回開催した。その他、MTDLP 事例検討も 2 回実施した。実践教育部として中堅者講習会も実施。学会部として第 9 回茨城県作業療法学会を開催した。

その他、各医療圏での研修会や、茨城県リハビリテーション専門職協会による研修会に対し共催・後援を行い、県士会としての役割を果たすことができたと考えている。

## 4. 地域貢献局

地域貢献局長：寺門 貴

地域貢献局は、5 つの部局を設置している。5 名の部長のうち 3 名は女性部長である。

①作業療法フェスタ運営部では、介護の日の企画・運営、OT フェスタ（計 2 回）の企画運営を実施した。②市民公開講座運営部では、3 回実施した。③制度対策部では、医療保険・介護保険の情報発信をホームページを通じて実施した。福祉用具相談支援システムの相談が 1 件あり対応した。④地域支援事業推進部では、茨城県リハビリテーション専門職協会に関連した派遣事業などで説明会や研修会などの企画運営に携わっている。⑤コミュニティディレクター統括部については二次保健医療圏における様々なユーザー支援活動の企画・運営を行っている。各医療圏の地域でのニーズを捉え、今後も作業療法士が地域に出て活動できるよう取り組んでいきたい。

## 5. 広報局

広報局長：角田 和之

啓発部、広報編集部、宣伝部の 3 つの部として活動している。

①啓発部として、高校生施設見学会を茨城県リハビリテーション専門職協会共同にて行った。新規に DVD を作成し配布を行った。OT 啓発用のパンフレットの作成、作業療法学会・介護の日での啓発活動などを実施した。また、小中高生向けの認知症サポーター養成講座の企画・開催などを実施し、若年層への啓発活動も力を入れて実施した。

②広報編集部では、ニューズペーパーである広報誌「OT いばらき」の発行を行った。それぞれ、県士会員施設や自宅会員、社協や福祉系団体等に送付した。

③宣伝部では、引き続きホームページ・メーリングリストの管理・運営を行った。また、各部局と連携

し、学会ポスター、市民公開講座ポスター、チラシ等の広報媒体の作成を行なった。茨城放送企画・制作・発行の「いばらき健康ハンドブック 2016」への監修・編集協力を行った。

## 6. 災害対策委員会

委員長：寺門 貴

茨城 JRAT 事務局会議を 4 回開催した。

## 7. 法人対策委員会

委員長：荒井 裕久

第 6 号議案にて報告。

## 8. 選挙管理委員会

委員長：植田 千春

第 5 号議案にて審議。

採決：質問なし。第 1 号議案について賛成多数であり、この議案は承認された。

### **第 2 号議案 平成 28 年度収支決算書・監事意見書** →賛成多数で第 2 号議案は採択

正味財産増減計算書では、収益に関して、受取会費・入会金について 494,000 円の増収となった。これは、83 名の新入会員があり、また会費納入への理解をしていただけたことで、前年度よりも収入が増えたと考えられる。また、支出の部に関しては、日本作業療法士会の 50 周年記念事業にて助成があったため当士会としての印刷・製本代の予算を抑えることができた。役員報酬をゼロベースにするなどしたことにより支出は減少している。

質問：正味財産増減計画書等を見ても、事業内容が分かりにくい（事業活動の効率性が見えてこない）。

予算に対して本年度の活動（費用）がどうだったのかを知りたい。

→武士財務部長

各部門の予算執行率について説明を加えた。前年度（平成 27 年度）の公益目的事業と比較して予算は削減され効率的になっていると思われる。健全な事業運営のために、必要経費を明確に提示できるようにしたい。議案書では事業活動の効率性の是非が分かりにくいものとなっている。次年度は、口頭を含め予算に対する事業の効率についても分かり易く説明を行っていく。

監事意見書：西 マナミ

平成 29 年 5 月 14 日に監事監査を行ったので、報告する。

- I 私達は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの会計年度の本会の財務諸表、すなわち、財産目録、収支計算書、貸借対照表を監査し、それを基礎として、本会の財務及び理事の業務執行の状況を監査いたしました。
- II 財務諸表の監査に当たっては、私たちが必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
- III 監査の結果、私達は、上記財務諸表が適正に作成されており、本会の平成 28 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日を以って終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めます。また、本会の財務と理事の業務執行の状況は、共に良好且つ適性であると認めます。上記の通り、監事の意見を報告いたします。以上

質問なし。第 2 号議案について賛成多数であり、この議案は承認された。

### **第 3 号議案 平成 29 年度事業計画の件** →賛成多数で第 3 号議案は採択

#### 1. 主要目標

会長：大場 耕一

引き続き、公益社団法人としての組織力強化、学術団体としての研修の推進、県士会学術集会およびブロック合同学会の継続・発展、広報・啓発活動の再構成と迅速性強化、災害支援への組織力強化、女性会員の事業参画促進に向けた取り組みを行っていく。

また、県士会運営において、個別の課題解決の必要性が年々増加しており、その実働部分を担当する委

員会組織を、細分化・新設を進めていくことで、迅速な事業運営を果たすことに注力していく予定である。  
 障害と自動車運転、認知症施策対応、精神保健領域、がん、自助具・福祉機器、発達障害支援など、その必要度と緊急性に応じた委員会の再構成・新設を行い、対応を開始してく。

## 2. 事務局

事務局長：小森 裕一

今後も、事務員と協力し、会員に向けた情報発信や問い合わせ等に迅速に対応していきたいと考えている。

総務部として総会および理事会における実務を担当する。「公益社団法人」の管理・運営及び業務全般の統括をする。渉外部は廃止し、総務部に役割を担ってもらう。

庶務部としては主に会員の入退会等会員管理に関することと、発送業務の円滑化を図っていく。

財務部では平成会計社と連携し、公益目的事業の50%以上を確保できるように管理していく。

厚生部としては、会員間の福利厚生の管理、慶弔時の電報等の管理、保険関連の管理を担当する。

## 3. 教育・学術局

教育・学術局長：白石 英樹

本年度も、例年通り現職者共通研修、現職者選択研修、生活行為向上マネジメント研修、中堅者研修、第10回茨城県作業療法学会を実施予定。また、その他研修会の共催・後援依頼にも対応していく。

## 4. 地域貢献局

地域貢献局長：寺門 貴

制度対策部については、平成30年度の医療保険・介護保険の同時改定に向けての情報の発信などを行っていききたい。

イキイキ地域づくり事業部に関しては、地域支援事業だけではなく、障害福祉の領域においても作業療法士の役割を模索し対応していく必要性があり、また地域のニーズをアウトリーチしていくために様々な事業を展開する必要性もある事を踏まえ、地域支援事業推進部の名称を「イキイキ地域づくり事業部」と変更した。事業としては、地域住民とのワークショップ開催、障害福祉領域のOTのネットワーク構築を図っていく。

コミュニティディレクター統括部については、引き続き地域における課題をユーザー支援等にて解決していけるように取り組んでいきたい。

## 5. 広報局

広報局長：角田 和之

啓発部では、将来の作業療法士を確保するため、小中校生向け認知症サポーター養成講座の企画・開催を通して若い人たちへの働きかけを行っていく。

広報編集部では、ニューズペーパーは年1回発行し、関係団体へ送付予定。会員へは、情報の迅速化・効率化・郵送費の削減などの目的にメールでのニュースの発信に変更していく。

採決：質問なし。第3号議案について賛成多数であり、この議案は承認された。

第4号議案 平成29年度収支予算(案) →賛成多数で第4号議案は採択

### 収支(正味財産増減)予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月 31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部 取引 消去	当年度 予算	前年度 予算	増減
		広告 事業	共益 事業	共 通	小計					
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費・入会金	4,363,237	0	374,067	0	374,067	3,724,696	0	8,462,000	7,848,000	614,000
研修収入	2,112,000	0	0	0	0	0	0	2,112,000	1,720,000	392,000

広告料収入	0	100,000	0	0	100,000	0	0	100,000	220,000	△ 120,000
その他事業収入	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000	20,000	0
経常収益計	6,475,237	100,000	374,067	0	474,067	3,744,696	0	10,694,000	9,808,000	886,000
(2)経常費用										
事業費										
会場費	282,500	0	0	0	0	0	0	282,500	234,000	48,500
謝金	909,250	0	0	0	0	0	0	909,250	893,550	15,700
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,510,400	0	0	0	0	0	0	1,510,400	1,090,500	419,900
会議費	336,200	0	0	0	0	0	0	336,200	317,500	18,700
交際費	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000	9,000	6,000
通信費	232,000	0	0	0	0	0	0	232,000	137,200	94,800
消耗品費	349,600	0	0	0	0	0	0	349,600	392,700	△ 43,100
印刷製本費	1,233,200	0	0	0	0	0	0	1,233,200	1,026,000	207,200
広告宣伝費	76,000	0	0	0	0	0	0	76,000	154,000	△ 78,000
支払手数料	864	0	0	0	0	0	0	864	5,000	△ 4,136
事務用品費	44,726	2,711	5,421	0	8,132	0	0	52,858	70,459	△ 17,601
賃借料	392,127	23,765	47,531	0	71,296	0	0	463,423	440,781	22,642
ホームページ管理費	198,000	12,000	24,000	0	36,000	0	0	234,000	234,000	0
委託費	306,197	18,557	37,115	0	55,672	0	0	361,869	361,869	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	582,480	0	0	0	0	0	0	582,480	582,480	0
法定福利費	6,693	0	0	0	0	0	0	6,693	6,693	0
運営手数料	0	0	260,000	0	260,000	0	0	260,000	80,000	180,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費										
役員報酬	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000	50,000	0
給料手当	0	0	0	0	0	388,320	0	388,320	388,320	0
法定福利費	0	0	0	0	0	4,462	0	4,462	4,462	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	587,236	0	587,236	385,715	201,521
通信費	0	0	0	0	0	407,707	0	407,707	392,295	15,412
事務用品費	0	0	0	0	0	14,909	0	14,909	19,873	△ 4,964
印刷製本費	0	0	0	0	0	425,812	0	425,812	413,812	12,000
保険料	0	0	0	0	0	43,300	0	43,300	46,010	△ 2,710
委託費	0	0	0	0	0	102,066	0	102,066	102,066	0
賃借料	0	0	0	0	0	130,709	0	130,709	124,323	6,386
支払手数料	0	0	0	0	0	1,576,466	0	1,576,466	1,556,962	19,504
交際費	0	0	0	0	0	224,960	0	224,960	191,400	33,560
寄附金	0	0	0	0	0	139,000	0	139,000	90,000	49,000
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	1,800	0	1,800	2,400	△ 600
ホームページ管理費	0	0	0	0	0	66,000	0	66,000	66,000	0

経常費用計	6,475,237	57,033	374,067	0	431,100	4,162,747	0	11,069,084	9,869,370	1,199,714
当期経常増減額	0	42,967	0	0	42,967	△ 418,051	0	△ 375,084	△ 61,370	△ 313,714
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	42,967	0	0	42,967	△ 418,051	0	△ 375,084	△ 61,370	△ 313,714
一般正味財産期首残高	0	275,702	0	0	275,702	4,624,890	0	4,900,592	4,961,962	△ 61,370
一般正味財産期末残高	0	318,669	0	0	318,669	4,206,839	0	4,525,508	4,900,592	△ 375,084
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	318,669	0	0	318,669	4,206,839	0	4,525,508	4,900,592	△ 375,084

採決：質問なし。第4号議案について賛成多数であり、この議案は承認された。

**第5号議案 役員（監事）選任の件**：植田千春選挙管理委員長 →賛成多数にて第5号議案は採択

平成29年3月23日付けで公示した茨城県作業療法士会役員改選について、理事・監事の立候補者を下記の通り受理しましたので以下に告示致します。

## 記

### 1. 立候補者氏名

#### 理 事

大場 耕一（総和中央病院）	富永 真弓（総和中央病院）
渡辺 円美（無所属）	若山 修一（茨城県立医療大学）
齋藤 真行（ホスピタル坂東）	小森 裕一（水戸赤十字病院）
荒井 裕久（水戸赤十字病院）	角田 和之（ホスピタル坂東）
藤木 真理子（牛久愛和総合病院）	大内 康雄（村立東海病院）
笥 智裕（牛久愛和総合病院）	山倉 敏之（筑波記念病院）
田口 智規（老健 ひまわり水戸）	武士 直也（水戸協同病院）
柘植 哲洋（つくばセントラル病院）	磯 智和（つくばセントラル病院）
宇都木 淳弘（水府病院）	
細田 忠博（神立病院 ケアセンター元気館）	
磯野 秀樹（聖愛園 元吉田ディサービスセンター）	
服部 考彰（愛正会記念 茨城福祉医療センター）	
柴田 梓（茨城北西総合リハビリテーションセンター）	
関 智之（老健 境町メディカルピクニック）	
寺門 貴（茨城北西総合リハビリテーションセンター）	

以上23名

#### 監 事

西 マナミ（神立病院）
中山 勉（平成会計社：外部監事）

以上 2名

## 2. 選挙方法

理事・監事において候補者がいずれも定数を満たしているため、定款施行細則第35条により無投票当選とする

質問なし。第5号議案について賛成多数であり、この議案は拍手にて承認された。

## 第6号議案 その他〔報告・案内〕

### 1) 各種委員会の設置について（目的）

- ・認知症対策委員会：認知症サポーターキャラバンによる作業療法士からの知識還元。各市町村の認知症初期支援集中チームへの参画。県よりMC Iへの対応、日本作業療法士協会の認知症対策委員会への参加。
- ・がんの作業療法対策委員会：県・国からの要望もあり、がんに対する作業療法の役割や関わりの啓発活動。
- ・精神障害領域対策委員会：精神領域の作業療法会員の入会を勧める。災害時の精神ケアを目的に介入していきよう調整していく。
- ・障害と自動車運転支援委員会：道路交通法改正もあり、高齢者や障害者の自動車運転について、県内自動車学校などと連携し実施していく。公安や関係団体との連携もすすめる。
- ・多く委員会が発足となり、県士会員のマンパワーが必要となっていますので、参加・協力が可能な方は、事務局や理事へ声掛けをお願いいたします。

### 2) 会員シール規程関連について（入会方法、郵送物等の件）

- ・県士会ホームページより、入会申込用紙をダウンロードして申請してください。茨城県作業療法士会と日本作業療法士協会の入会は別々に行う必要がありますので注意をしてください。
- ・会員証規程：会員シールに関する文言を追加。会員証再発行手続きはHPを参照。
- ・日本作業療法士協会の入会について：ウェブにて入金可能となった。新入職員がいる職場の方は、ウェブでの入会を進めてください。

### 3) 地域貢献局組織改編について（地域貢献局）

地域支援事業推進部を、イキイキ地域づくり事業部へと名称を変更し、事業推進していく。

### 4) 事務員給与関連について

現在事務員の給与は900円となっているが、予算状況もみて、平成29年度は、事務員の時給を10円アップしていく予定としている。

### 5) 茨城県監査報告について

県からは、概ね問題なしとの結果をいただいたが、書類の不備が何点かあった。特に、医療圏活動において、開催案内（チラシ）が不足していた。今後、行った事業に関しての案内は、各部長を通して集約したいと思いますので提出をよろしくお願いします。

### 6) 第9回茨城県作業療法学会報告および優秀演者表彰について

久保田学会部長より報告あり。

### 7) 第10回茨城県作業療法学会の案内について

- ・平成30年2月18日（日）
- ・学会長：荒井裕久（水戸赤十字病院） 実行委員長：片岡信宏（水戸済生会総合病院）
- ・学会テーマ：作業療法ってなんだっぺ ～原点回帰とこれからの可能性～

議長は以上をもって本日の議事を終了した旨を述べた。議長は解任され、本定時社員総会は16時30分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席理事・監事の全員がこれに記名押印する。

平成29年6月4日

公益社団法人 茨城県作業療法士会 定時総会

代表理事 大場 耕一 公印

議事録作成者 荒井 裕久 印

(出席理事)

議長 代表理事 大場 耕一 印

理事 白石 英樹 印

同 寺門 貴 印

同 小森 裕一 印

同 角田 和之 印

同 大内 康雄 印

同 大松 史人 印

同 若山 修一 印

同 磯野 秀樹 印

同 久保田 智洋 印

同 笥 智裕 印

同 柴田 梓 印

同 富永 真弓 印

同 齋藤 真行 印

同 関 智之 印

同 山倉 敏之 印

同 武士 直也 印

同 田口 智規 印

同 荒井 裕久 ⑩

(出席監事)

監 事 西 マナミ ⑩